



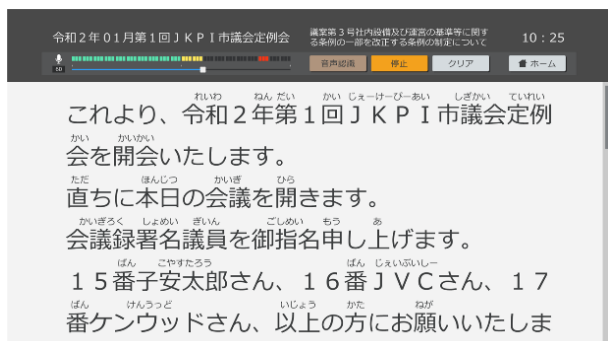
2021年10月28日

株式会社アドバンスト・メディア

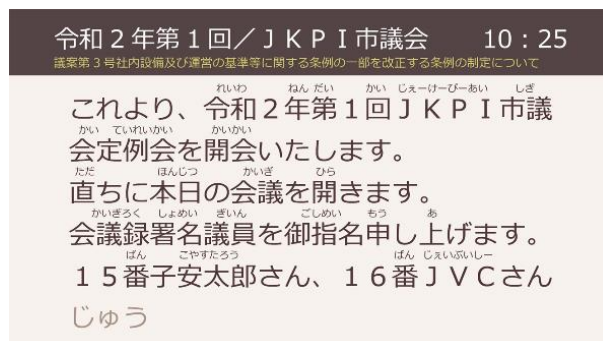
JVC ケンウッド・公共産業システムの 地方議会向け音声認識表示ソフトウェア「TZ-TRACER」に 音声認識技術 **AmiVoice**[®] が搭載されました ～傍聴席への文章表示と、配信用の字幕表示に対応～

株式会社アドバンスト・メディア（本社：東京都豊島区、代表取締役会長兼社長：鈴木清幸 以下、アドバンスト・メディア）の音声認識技術 AmiVoice が、株式会社 JVC ケンウッド・公共産業システム（本社：神奈川県横浜市、代表取締役：上原 輝久 以下、JVC ケンウッド・公共産業システム）の地方議会向け音声認識表示ソフトウェア「TZ-TRACER」に搭載されました。10月28日（木）より販売開始いたします。

音声認識表示ソフトウェア「TZ-TRACER」は、地方議会などにおける発話内容について、議会の傍聴席にいる「リアル参加者」には文章表示を提供し、インターネット中継や庁内配信などで視聴する「遠隔視聴者」に対しては、現地映像と字幕を合成して表示できるソフトウェアです。現場でも、遠隔の場でも、同時に議会を傍聴できる環境を提供します。



操作者画面



文章表示画面

この度、アドバンスト・メディアのAI音声認識開発キット「AmiVoice SDK」が、「TZ-TRACER」に搭載されました。業界シェア7年連続 No.1[※]の音声認識エンジン AmiVoice により、議会などの専門用語も高精度で認識します。「AmiVoice SDK」を用いて音声認識機能をシステム内に組み込んでいるため、オフラインでも使用可能です。

また単語登録機能を活用することで、人名や地名などの固有名詞もテキスト化できます。

昨今、全国の地方議会では「開かれた議会」に向けた取り組みが推進されており、ライブ中継やVOD配信のようなインターネット中継などが一般的となっています。そのような中で、高音質・高画質に対応したシステムの構築はもちろん、現場の傍聴席にいる「リアル参加者」と、インターネット中継や庁内配信などを通して視聴する「遠隔視聴者」の両方に文字情報を付加した支援が求められています。

アドバンスト・メディアでは、今後も各社と連携し、地方自治体や議会の DX 化に貢献する音声認識ソリューションの開発・提供を推進してまいります。

【AmiVoice SDK、概要】

各種 OS で動作するアプリケーションに対して、単語、コマンド、文章認識機能等、各種音声認識の組み込みが可能な開発キットです。音声認識専門企業としての豊富な経験と高度な実装ノウハウをベースに、お客様の開発をフルサポートします。

https://www.advanced-media.co.jp/products/service/amivoice-mobiletoolkit-for-iosfor-android_windows-sdk-2

※出典：ITR「ITR Market View：AI 市場 2021」音声認識市場ベンダー別売上金額シェア（2015～2021 年度予測）

以上

【会社概要】 <株式会社アドバンスト・メディア>

代 表 者： 代表取締役会長兼社長 鈴木 清幸

本 社： 東京都豊島区東池袋 3-1-1 サンシャイン 60 42F

U R L： <https://www.advanced-media.co.jp/>

設 立： 1997 年 12 月

資 本 金： 69 億 3,031 万円（18,392,724 株）（2021 年 9 月末現在）

事 業 内 容： ◆AmiVoice を組み込んだ音声認識ソリューションの企画・設計・開発を行う「ソリューション事業」
◆AmiVoice を組み込んだアプリケーション商品をライセンス販売する「プロダクト事業」
◆企業内のユーザーや一般消費者へ AmiVoice をサービス利用の形で提供する「サービス事業」

【本件のお問い合わせ】

報道関係	お客様
経営推進本部 広報チーム ・ E-mail： press@advanced-media.co.jp ・ TEL：03-5958-1307	STF 事業部 ・ E-mail： info@advanced-media.co.jp